

5月3日

藤原岳

永井 繁一

山名	藤原岳 (1144m)	山行名	例会
ルート	観光駐車場→大貝戸登山口→八合目分岐→藤原→藤原岳→藤原山荘 →八合目分岐→大貝戸登山口→観光駐車場		
山行日	2022. 5. 3 (火)	天候	快晴
参加者	リーダー：永井 サブリーダー：竹原(順) 男性：西川、木田、相川、中田、佐々木 女性：竹原(絹)、蒲田、玉井、幾田、高橋、秋山、玉置 合計：14名		

ルート概略図 	コースタイム				
	地名	時：分	地名	時：分	
観光駐車場	集	08:00	藤原岳	着	12:20
	発	08:30		発	12:35
大貝戸登山口	着		藤原山荘	着	12:45
	発	08:45		発	12:55
二合目	着		八合目	着	
	発	09:05		発	12:35
八合目	着		大貝戸登山口	着	
	発	10:27		発	14:50
藤原山荘	着	11:20	観光駐車場	着	15:10
	発	12:05		発	-

ゴールデンウィークの中日と人気があると言われる藤原岳なので、高速道路の混み具合と駐車場の確保が一番心配であった。高速道路の交通量は思ったほど多く無く、名神八日市 IC で下りて観光駐車場を目指した。80 台程度止められる駐車場がすでに満車に近い状態であったが、わずかに残ったスペースに滑り込みセーフ。ホッとした。登山口である神武神社まで 10 分程アスファルト道を歩き、ここから登山スタート。登山口駐車場にある山行届投函ポストは、投函口から届がはみ出している状態であったが、強引に押し込んだ。登山者の多さに驚く！

観光駐車場からの歩きと晴天下の気温のせいだろうか、登山口より少し登った所で早めに衣服調整を行う。その後も 20~30 分を目途に休憩を取ろうとしたが、登山道は安全にすれ違いができ 14 人が休めそうな場所が少なく、休憩場所に悩んだ。また参加者のペースが把握できておらず、パーティー後方を確認できないほど間延びした状態を作ってしまった。ただ、遊軍 N さん・K さん・記録係 T さんにペース修正の声掛けを頂き、調整できたと思っている。先頭を歩く難しさを痛感。八合目から九合目にかけては木々の間から眺望があり、一息付けた区間である。この後の藤原山荘までは大小の露頭が続くので、安定した足場選びできるよう更にペースを落とした。出発が予定より早かったこともあり、藤原山荘には予定より 40 分ほど早く到着した。ここで昼食を取り展望丘を目指す。藤原岳山頂からの伊勢湾や琵琶湖（近江富士も）のパノラマは、下見の時同様に素晴らしかった。

初 CL で始めから終わりまで戸惑う事ばかりだったが、SL さんのレクチャーを頂き何とか無事に終える事ができホットしている。ペース配分、休憩間隔や班分けが重要だと気付いたが、個々の体力や登山道の形態によるところが大きく、難しい課題である。

車提供頂いた N さん、K さん、またご参加の皆さん、ご協力ありがとうございました。

ヒヤリハット:なし



藤原岳山行 感想文

藤原岳はチョー人気、広大な台地に寛ぐ老若男女、コロナも辟易

佐々木康治

4:10am に目覚ましをセット、辛いながらも山登りのため、健康のため、アラームと共にガバッと起き、久しぶりに藤原岳に会いに行く。男6、女8の登山隊、西川号、木田号に分乗し8:10に山麓到着。広い駐車場はもう既に満杯、あふれた車が近くの道路沿いに並んでいる。大貝戸道はよく整備され合目ごとに立つ真新しい標識が登山客を叱咤激励。頂上直下の避難小屋周辺には可憐な白いミスミソウの絨毯、指呼の間に御池、伊吹、霊仙、養老…それぞれの山に思い出がある。頂上(1140m)周辺の広大な斜面には喜色満面の登山客が爽やかに大気浴、コロナ大魔王もここでは肩身が狭い。花の山とも言われ、アセビの群落、カタクリが気を吐いている。ペースが「速い」と言う人、「遅い」と言う人とマチマチ、「どうしたらいいの?」と永井リーダーは困惑気味、先導するのは大変だ。帰途は大渋滞に巻き込まれたが、車内のギャルたちは終始賑やか、退屈することもなく京田辺へ、みんなワカーイ!

竹原絹栄

6:20 京田辺を車2台・14名で出発。高速道、八日市から8:10頃駐車場に到着。駐車場は満車状態で、区画外にギリギリ止めさせて頂く。

8:40頃登山道入口。あと二合目～頂上手前の小屋まで表示がきっちりとしり分かりやすく登りやすくも感じました。

1140mの頂上へはザックを置いて往復。私自身、藤原岳は初めてでしたが、同行メンバーの中で何度も登っているけどこんなに天気に恵まれたのは初めて!という言葉は何人かから聞きました。それとコバノツバキの群生地があちこちに見られ、花の名山を改めて認識しました。

今回、交流部員が多く歌好きだなあと再認識。今後に密かな期待を抱きました。

CLさん SLさん楽しい山行をありがとうございました。

蒲田 史

藤原岳は昨年の山行前日にキャンセルすることになってから、ずっと登りたいと思っていた山でした。当日は素晴らしく良いお天気に恵まれました。山頂近くになると、聞いていたとお見晴らしもよく、またあちらこちらに花が咲いています。カタクリの花も見ることができました。さすが花の百名山。そこで食べるお昼ご飯も最高でした。

GW 真っ只中、帰りは予想を裏切らず栗東からは大渋滞。ナビ係の K さんは、Google ナビを操り（操られ?）ながら、運転手の N さんにそこを右、左と。どこに向かっているのか?と半信半疑ながら Google に従って進むと渋滞を回避して京都に入りました。が、そこからも Google に振り回されて、車中は笑いが絶えません。珍道中の末なんとか帰着。最後まで楽しい1日でした。

CL、SL、運転手の方々、ご一緒して下さいの皆様、ありがとうございました。

木田修司

これまで近郊の山を登って来なかったことから、今回の藤原岳も初めてである。天候にも恵まれ快適な登山だった。

夏山のトレーニングも兼ねて、龍門山、武奈ヶ岳に続き今回も負荷を大きくした。初回の山行では、下山後に肩や背中、節々の痛みが3、4日続いた。それが2回目、3回目と体が徐々に順応して来ている。70歳を目前にした老体が、運動を続けることで体力が向上することに今更ながら驚いている。

山頂でのひと時、記念撮影が終わり山座同定を楽しんでいると、「次の人達が待っているので譲りましょう!」と A さんからの呼びかけがあった。遠望を楽しんで廻りが見えていなかったことを反省し、Aさんの気遣いに感謝!

下山後に S さんが、「きょうもぶじに、げざんできた——」と、ほほ笑みながらつぶやかれた。そうなんだ! これからも下山時にこんな気持ちと言葉が出るような山行を続けたい……。